学校番号	122

平成31年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅢ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

柔道の基本動作と受身をベースとした、投技・固技・連絡技を習得し、対人に対して自由に技を施せるよう指導していく。個人差・体格差・男女差などレベルに応じて乱取（自由稽古）ができるレベルを目指し、安全に配慮した授業を進める。また、試合の仕方、審判規定の理解、方法を学習させる。

2　学習の到達目標

1．柔道の基本動作と対人技能を身につけ、相手の攻防に応じた練習や試合、審判ができるようにする。２、自己の技能に応じて目標を決め、互いに協力して自主的に計画的に練習ができるようにする。３．礼法などの伝統的な行動を身につけ、規則を守り、互いに相手を尊重し公正な態度で練習や試合ができるようにする。４．練習場や用具の安全を確かめ、禁止事項を守り、健康、安全に留意して練習ができるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしているか。 ・公正、協力、責任などの社会的態度が身についているか。 ・健康や安全に留意して運動しようとしているか。	・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか　・課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫しているか。	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。	・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、武道の意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身につけているか。
評価方法	授業への参加の意欲の観察・実技テスト	授業への参加の意欲の観察・実技テスト	授業場面での参加の仕方や態度の観察・実技テスト	授業場面での参加の仕方や態度の観察・実技テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	柔道	**・オリエンテーション・礼法(立礼・座礼)・受身(後受身、横受身、前受身、前回り受身)・組み方、崩し方・歩き方(単独・対人)・支釣込足・膝車・足払**	○	○	○	○	a:柔道の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう自ら進んで運動しようとしているか。公正、協力、責任などの社会的態度が身についているか。健康や安全に留意して運動しようとしているか。 b:自己の能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫しているか。 c:自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い技能を高めているか。自己の体力に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。 d:社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、武道の意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身につけているか。	・受講態度の観察・受身の実技試験
2	柔道	**・前期の復習(受身・投技)・大腰・払腰・大内刈・小内刈・大外刈・背負投・一本背負投・体落・抑込技(袈裟固・肩固・上四方固・横四方固・縦四方固)・抑込技の逃げ方、防ぎ方・固技の乱取**	○	○	○	○	a:柔道の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう自ら進んで運動しようとしているか。公正、協力、責任などの社会的態度が身についているか。健康や安全に留意して運動しようとしているか。 b:自己の能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫しているか。 c:自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い技能を高めているか。自己の体力に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。 d:社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、武道の意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身につけているか。	・受講態度の観察・投技の実技試験
3	柔道	**・前期の復習 (投技)・投技の連絡技・投技から固技の移行・投技の乱取・試合の仕方・審判の仕方**	○	○	○	○	a:柔道の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう自ら進んで運動しようとしているか。公正、協力、責任などの社会的態度が身についているか。健康や安全に留意して運動しようとしているか。 b:自己の能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫しているか。 c:自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い技能を高めているか。自己の体力に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。 d:社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、武道の意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身につけているか。	・受講態度の観察・固技の実技試験・乱取の実技試験

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。